

第二次ふっさっ子未来会議にて、未来提言をまとめました

教育における様々な課題を検討するため、令和元年度から第二次ふっさっ子未来会議を開催し、学識経験者や関係機関の代表者とともに協議を行い、課題解決への方向性を示した「未来提言」をまとめました。

問合せ 教育総務課教育総務係 ☎551・1930

検討事項（1）

学校教育の現状診断と事業評価等について

子どもに関する恒常的な重点課題である学力向上問題、学校ICT、特別支援教育、不登校対策等について現状を整理し、課題を抽出し、対応策を検討する。

未来提言1

情報化や国際化など急速かつ激しく変化する社会を主体的・創造的に生き抜いていくための「知」「徳」「体」を育む教育の推進

- 人権教育及びSDGsの推進
- 「主体的・対話的で深い学び」(学習指導要領)の視点から全ての児童・生徒に確かな学力を育むための恒常的な授業の工夫改善
- 9年間を通じた学力・学習状況調査の実施(経年で個別に把握し、生活状況及び小学校低学年と就学前教育との非認知的な能力との相関分析等)
- 就学前教育と小学校教育の円滑な接続・連携の一層の充実を図る教育の推進(東京都教育委員会研究指定地区としての取組の充実)
- 外国語教育の推進及びグローバル社会で活躍する人材の育成
- 健やかな体を育て、健康で安全に生活する力を身に付ける教育

未来提言2

質の高い教育を支える環境整備の推進

- 福生市立学校ICT推進計画の改訂及びセキュリティポリシーの整備
- 今後の学校教育ICT化推進についての担当組織の機能化
- 文部科学省GIGAスクール構想の補助財源を活用した計画的推進
- 子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するICT活用の推進
- 予測不可能な時代に対応するオンラインを活用した授業や会議等の推進
- 教員の働き方改革の促進を図るため、校務用及び指導用のICT整備
- 教育センターにおける学校経営支援の推進(保護者、市民からの広聴、対応等)
- これからの教育を担う優れた教員の確保及び育成

検討事項（2）教育と児童福祉の一貫的な支援体制の在り方について

児童・生徒の家庭における養育状況(虐待、ネグレクト等)と就学相談の現状及び就学前教育における学びの基礎力の育成、幼稚園・保育園から小学校段階へ移行する際の相互理解不足を解消するため、関係部署における適切な連携の在り方、更には中学校につながる連携した支援の在り方を検討する。

未来提言3

児童・生徒の多様なニーズに応じたきめ細かなサポートの推進

特別支援教育

- 副籍制度や交流活動等学校におけるインクルーシブ教育の更なる推進
- 福生市特別支援教育プログラムの改訂
- 教育センター機能強化、子ども家庭支援センター、子育て世代包括支援センターとの連携強化(就学相談、教育相談精度向上と体制の安定的組織運営)
- 中学校特別支援教室及び特別支援固定学級における専門性の向上

不登校対策

- 不登校特例校分教室の設置及び充実(令和2年4月開校)
- 福生市立学校の不登校総合対策の改訂
- 教育センター長直属の不登校対策チームを組織化し、効果的な支援を充実

教育と福祉の連携

- 家庭教育支援、虐待案件等、保護者への指導の充実を図るため子ども家庭支援課との連携強化(学校との分業化推進)
- 健康課との連携強化(幼保巡回相談)(発達障害等早期発見、療育の連携体制整備→就学相談)

検討事項（3）

市立小中学校施設の老朽化と機能の現状と課題、今後の在り方及び現行の学区域性の課題と改善について

現在、全庁的に進められている公共施設等の総合管理計画、個別施設計画、更には児童・生徒数の将来予測や学区域の諸課題や学校施設の老朽化、放課後児童対策など今後の学校の機能の在り方も含めて将来の方向性を協議し、教育委員会として明確な構想を検討する。

未来提言4

公共施設等総合管理計画の着実な推進

- 福生市公共施設等総合管理計画(平成29年3月策定)から令和2年度に策定される個別施設計画に基づき、総量抑制、長寿命化、集約化、複合化の検討
- 公共施設再配置基本方針を軸に今後の市立学校の在り方の検討

検討事項（4）

社会教育の抱える課題解決に向けた社会教育施設の在り方と社会教育事業の実施について

社会教育の抱える課題解決に向けた社会教育事業の見直しを行い、人づくりを基軸に公共施設等の総合管理計画、個別施設計画への対応と多様なニーズに応える施設機能について検討する。

未来提言5

家庭・地域・社会と学校とが連携、協働する教育活動の推進

- 教育基本法に謳われている子どもの教育について、家庭が第一義の責任を果たせるよう地域と学校が連携して各家庭への支援を推進
- コミュニティ・スクールの全校指定後の各学区において培ってきた子ども支援組織や地域支援組織等、

コミュニティ・スクール委員会を中心に学校と地域ごとに運営自立を促せるよう所管課において推進、地域社会総がかりの教育の実現

- 福生市総合計画[第5期]に掲げる「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」との整合性を図り、人づくりに専念できるよう教育施設の貸出やメンテナンスなどの業務を所管する部署の創設
- 教育施設の機能をどう発展させていくか、他の部署との調整を進め、青少年活動と放課後児童対策を一体的に推進

市内の学校で令和3年度に使用する教科書が決まりました

7月31日に開催された第2回福生市教育委員会臨時会にて、令和3年度に使用する中学校用教科書が採択されました。

【令和3年度に使用する中学校教科書一覧】

種目	発行者	書名
国語	光村図書出版	国語
書写	光村図書出版	中学書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	東京書籍	新しい社会 歴史
社会(公民的分野)	東京書籍	新しい社会 公民
地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	東京書籍	新しい数学
理科	学校図書	中学校科学
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽

種目	発行者	書名
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美術	光村図書出版	美術
保健体育	大日本図書	中学校保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	東京書籍	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英語	東京書籍	NEW HORIZON English Course
道徳	東京書籍	新訂 新しい道徳

問合せ 教育指導課指導係 ☎551・1538

務係 ☎551・1930

問合せ 教育総務課教育総務係 ☎551・1930

※推薦調書、表彰基準については、市ホームページからダウンロードすることができます。

2階教育総務課教育総務係へご提出ください。

◆推薦の締切 令和2年12月4日(金)まで

◆推薦方法 推薦調書に必要事項を記入し、功績の内容がわかる賞状、大会要項等を添えて、市役所第二棟

◆表彰対象期間 令和元年12月1日から令和2年11月30日まで

◆表彰式 令和3年3月13日(土)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、今後中止となる場合があります。

◆表彰対象期間 令和元年12月1日から令和2年11月30日まで

◆推薦の締切 令和2年12月4日(金)まで

◆推薦方法 推薦調書に必要事項を記入し、功績の内容がわかる賞状、大会要項等を添えて、市役所第二棟

◆表彰式 令和3年3月13日(土)

◆推薦の締切 令和2年12月4日(金)まで

◆推薦方法 推薦調書に必要事項を記入し、功績の内容がわかる賞状、大会要項等を添えて、市役所第二棟

◆表彰対象期間 令和元年12月1日から令和2年11月30日まで

◆表彰式 令和3年3月13日(土)

◆推薦の締切 令和2年12月4日(金)まで

◆推薦方法 推薦調書に必要事項を記入し、功績の内容がわかる賞状、大会要項等を添えて、市役所第二棟

◆表彰対象期間 令和元年12月1日から令和2年11月30日まで

◆表彰式 令和3年3月13日(土)

◆推薦の締切 令和2年12月4日(金)まで

◆推薦方法 推薦調書に必要事項を記入し、功績の内容がわかる賞状、大会要項等を添えて、市役所第二棟

◆表彰対象期間 令和元年12月1日から令和2年11月30日まで

◆表彰式 令和3年3月13日(土)

◆推薦の締切 令和2年12月4日(金)まで

◆推薦方法 推薦調書に必要事項を記入し、功績の内容がわかる賞状、大会要項等を添えて、市役所第二棟

令和2年度「福生市教育委員会表彰」の候補者を推薦してください

教育委員会では、教育、学術、技術、体育及び文化等に関して功績が顕著である児童・生徒、学校教職員並びに個人及び団体を表彰します。国や東京都等の公的機関が主催する大会やコンクールで受賞した等、表彰基準に該当する、令和2年度福生市教育委員会表彰の表彰候補者の推薦をお願いします。

被表彰者は、3月に予定している表彰式において表彰されます。

なお、同一の功績及び表彰に基づく表彰は2回までです。(団体の構成員が入れ替わっている場合は除く。)詳しくはお問い合わせください。